

建築研究所ニュース



平成 24 年 1 月 31 日

2月22日「国際ビデオ会議」の参加者を募集します

—復興を通じた安全な住宅づくりを考える— (参加費無料)

独立行政法人建築研究所は、政策研究大学院大学と共催で「国際ビデオ会議」
—復興を通じた安全な住宅づくりを考える—を2月22日(水)に開催します。

1. 目的：多くの大地震においては、住宅を中心とする建築物の倒壊が死傷者発生の主因となります。住宅に焦点を当て、被害の実態と背景、復興にあたっての被害軽減技術とその普及などについて、参加各国からの報告をもとに、今後の取組みへの教訓について議論を行います。会議は、より多くの国との情報共有を図るため、日本をベースに他の地震国8ヶ国をビデオ会議システムによりつないで実施します。
(インドネシア、フィリピン、中国、ネパール、バングラデシュ、パキスタン、トルコ、ニュージーランド)
2. 主催：(独) 建築研究所、政策研究大学院大学
協力：JICA、UNESCO、世界銀行、日本建築学会CIB 委員会、CIBTG75 (ノンエン지니어ド住宅に関する国際的なスタディグループ)
3. 日時：2012年2月22日(水) 午後4時～7時50分(日本時間)
4. 参加費：無料
5. 言語：英語のみ
6. 場所：世界銀行東京開発ラーニング・センター (TDLC)
東京都千代田区内幸町2-2-2富国生命ビル10階
7. 内容：
 - (1) 近年の巨大災害と住宅復興についての報告 (2010年ハイチ、2008年四川、2005年カシミール地震、2004年インド洋地震・津波、2011年東日本大震災など)
 - (2) 近年の地震災害についての報告 (2011年トルコ地震、2009年パダン地震)
 - (3) 地震被害軽減の取り組みの事例紹介 (ネパール、フィリピン、インドネシアから)
 - (4) 国際的な情報共有と被害軽減のためのアプローチ (世銀、JICA、EERI、IAEE ほか)

8. 参加登録：氏名、所属、連絡先（メール・アドレス、電話番号）を記載して、メール又はFaxで下記に参加登録をお願いします。

（2月1日から先着順で受付を開始します。）

【連絡先】(財)日本開発構想研究所 杉岡

e-mail sugioka@ued.or.jp FAX: 03-3504-0752

交通のご案内

東京開発ラーニングセンター

〒100-0011

東京都千代田区内幸町 2-2-2

富国生命ビル 10階

電話：03-3597-1333



●2月22日は、ビデオ会議システムによりサブ会場を繋いで実施。サブ会場での参加希望の場合は登録時に希望される会場名を付記下さい。会場への案内図を送付します。（JICA 本部、JICA 筑波、JICA インドネシア、バンドン工科大学、JICA フィリピン、JICA 中国、JICAバングラデシュ、NSET オフィス（ネパール）、JICA パキスタン、JICAトルコ、ニュージーランド・ビクトリア大学（ウエリントン））

●(独)建築研究所では、2月21日（火）13:00より「巨大災害からの復興を考える」国際シンポジウムを本ビデオ会議と一連の情報共有の場として、政策研究大学院大学と共催で、同大学の想海楼ホールにおいて開催します。（1月23日から先着順で受付中）

【連絡先】政策研究大学院大学 岡崎研究室 アシスタント 李

e-mail lee-aelim@grips.ac.jp FAX: 03-6439-6010

(内容の問合せ先)

独立行政法人建築研究所
所 属 国際地震工学センター
管理室長
氏 名 黒澤 肇
電 話 029-879-0678(直通)
E-mail kurosawa@kenken.go.jp